

刊夕日四十月二十

# 常磐每日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 廣告料 五段 第一行五字五段 第二行四段 第三行三段 第四行二段 第五行一段  
 電話 東京 三三三三 三三三三 三三三三 三三三三  
 發行所 常磐每日新聞社 東京 三三三三 三三三三 三三三三 三三三三  
 印刷所 常磐印刷株式會社 東京 三三三三 三三三三 三三三三 三三三三

## 創造的音樂教育 [一]

磐城中等學校 根本 邦雄

藝術鑑賞に二方面あり、受容的と創造的のものに考へらる、受容的鑑賞を少しでも早く脱して、創造的鑑賞の域に進むと進まざるは余程教師や、父兄の楫の取り方で決定出来るのである、このことを助けるため、この必要手段とするものを「創造的音樂」の名で一括して言葉上の節約とする

「創造的音樂」の目的は兒童が音樂を研究し、又日常生活上に音樂を用ゐるの間に在る多くの場合の様に時間と費用の浪費に終つて了はないで音樂其の物に本具の能力を充分に發揮し、教育のすべの目的に貢獻す

花の新川日暮れの土手を  
 櫻吹雪にぬれぬれ戻りや  
 まねきますぞえ街の灯が  
 ザツサ平の街の灯が

宵は本町目ぬきの通り  
 更けりやしんみり新田町  
 朧月夜に花が散る  
 ザツサ月夜に花が散る

平五万石あやめのお濠り  
 花は紫ゆかりの色よ  
 土にや情の根がふかい  
 ザツサ情の根がふかい

一度見やんせ平の盆を  
 町は灯の海ジャンガラ踊  
 踊りやあの世の佛も踊る  
 ザツサあの世の佛も踊る

赤井の雪さえ春くるとける  
 とけてとけなぬ謎はない  
 解いておくれよ私しの謎  
 ザツサ解きやれわしの謎

月一度のお三夜様に  
 逢ふが樂み人波分けて  
 足を踏れてわしや泣いた  
 ザツサ逢はづに私泣いた

各種樂器製作の驚く可き  
 思ふ通りに自由行動が出来

其れを立派にする熟練を有してゐるならば若しもこの能力が微妙な社會的適應性を有して居て良くバランスがとれてゐるならば、其うして若しも美の鋭敏な鑑賞があり、更に其情緒力を健全な表出の道に向けるならば、其人の教育は完全なものであると云へる、語を換へて申せば其の人の受けた教育は正しく且つ生き甲斐のある生活をする事が出来る様に其人を準備して呉れたのである。教師や父兄が兒童や子女の爲に成す事は何等かの方面に於て彼等の生活を豊かにし他日彼等が世に出た時人生が彼等に與へるすべての經驗を正しく受けられる様に準備するものでなければならぬ。

花の新川日暮れの土手を  
 櫻吹雪にぬれぬれ戻りや  
 まねきますぞえ街の灯が  
 ザツサ平の街の灯が

宵は本町目ぬきの通り  
 更けりやしんみり新田町  
 朧月夜に花が散る  
 ザツサ月夜に花が散る

平五万石あやめのお濠り  
 花は紫ゆかりの色よ  
 土にや情の根がふかい  
 ザツサ情の根がふかい

一度見やんせ平の盆を  
 町は灯の海ジャンガラ踊  
 踊りやあの世の佛も踊る  
 ザツサあの世の佛も踊る

赤井の雪さえ春くるとける  
 とけてとけなぬ謎はない  
 解いておくれよ私しの謎  
 ザツサ解きやれわしの謎

月一度のお三夜様に  
 逢ふが樂み人波分けて  
 足を踏れてわしや泣いた  
 ザツサ逢はづに私泣いた

各種樂器製作の驚く可き  
 思ふ通りに自由行動が出来

發達と音響機の普及を凌ぐラヂオの一般化は在來の教育が主として視覚の關門を通じて行はれてゐたのを轉じて知識の獲得にも精神的慰安の受容とも聽覺に俟つものを著しく増加し音樂的教養の有無大小が個人の生活内容の貧富高下を支配する事が甚だしくなりつゝあるは看過出来ない事實である、斯様な譯であるため極端に時代後れの少數者を例外とするだけで大多數の有識者は此完全なる教育には音樂の協力が欠く可からざるものである事を強く感じらる。

### 七五三帽子均一廉賣

均一	10	錢
	20	錢
	30	錢
	50	錢
	70	錢
	95	錢
均一		

廿一日迄  
 モリタヤ洋品店  
 買き店5丁目電353

### 安價—榮養—手輕 料理講習會

講習種目 正月の料理  
 豆腐料理 牛豚料理 玉子料理 魚肉料理 野菜料理 西洋料理 ソースの拵方 支那料理 西洋菓子

日時 明十五日限り 午前十時より午後三時迄  
 會場 平陽女學校  
 會費 八十錢二日間材料代共  
 講師 阿美八郎氏  
 主催 家庭榮養料理研究會  
 後援 平婦人會 平女子青年團

吉田眼科病院  
 平陽町電話六八八番

### 上手は時代の勝利者

今評判の透寫式練習法とは新式奇抜な新法にして最も興味深い練習法にて短時間で日本語、英字、數字等に熟達し得る通信式教授今スグに「で見たと東京神田三崎町三崎町」習字研究会へハガキで申込あれ説明見本無代送呈す。

色特大五  
 短期で卒業できる  
 懇切で内容の完備  
 種々の大特典提供  
 一生涯の良師友!!

會長直授指導  
 によるこの理想的中  
 學講義に依つて職業  
 の餘暇に勉強しながら僅か一ヶ月で文部省令に依る中等全科が完全に習得できる、講師諸

先生は毎日中學校で實際に教授されて居る方々で平易にして懇切に説明してあるから全く學校へ通つて居るも同じやうなものである、學科は最も新しく卒業が速いから従つて會費が僅少ですむこの講義録の見本は今スグ「で見たと」ガキで東京市神田區三崎町帝國中學會へ申込み次第詳細内容見本無代送呈す。

月曜言論

單獨内閣はか非か

單獨か？協力か？今回の政變は、かつて此處に其の因を發した、安達久原氏等協力論者の云ふ舉國一致の内閣、其名は甚だ華々しい響きを持つて居る、然れ共其の實に至つては寄り合ひ世帯の角つき合ひに終始すべき多くの危機を孕んで居る内憂外患交々至るの時に際して内証破綻を豫想し得る、鶴式變態内閣の出現は政界の前途をして明るくするゆえんではない。犬養氏が七十七の老體を掲げて國難打開に邁進せんが爲めに自己の抱負經綸を斷々乎として政治の上に行はんと身邊の毀譽褒貶を却けて單獨内閣を組織した意氣は正に壯とすべきである、此の熱意此の氣概あつてこそ始めて力ある政治を翹望し得ると思ふ、然るに南陸相は舉國一致に非らざる犬養内閣は國難打開の資格なしとの意見を開陳して留任せざる意志表示と爲した由である斯かる言は出て行き際の捨てセリフに過ぎずと聞けば夫れ迄であるが、滿洲問題解決の道程を迫る重大渦中に采配を振つて居た前陸相の言としては餘りに無責任く極りなしと云ふべきである眞に國事を憂ふるものであつたとするなれば捨セリフ等を云つて居らるべき時ではない、宜しく粉骨細身を以つて奉公の誠を盡すべし

である、然るに、此の渦中より脱して閑地に着き先づ自己の安逸を願はんとし、新内閣に後足で砂を掛くる自己の非を覆はんが爲めに勿体らしく理屈付けんとする卑怯さは武人の面汚しと云ふべきである、犬養内閣はか否かは寧ろ今後に残された問題である、若し夫れ協力派の云ふが如く多事多難の國情を開拓せんため全國民の力を傾倒すべき時であるならば、此際些々たる立場にこだわつて反對せんが爲めに反對するが如き愚舉をやめ、國民一致協力新内閣を支持鞭達しその主義綱領のよき現れを念願すべきである。

木炭の製造高一躍大激増

昨年同期を遙かに突破

去月十一月中に於ける濱三郡木炭の生産高を見ると木炭露要期に入つたのと市場に於ける製品好評の爲め益々激増して石城七一、二二六俵、双葉六四三〇八俵、相馬一八八〇三俵、計一五五二三七俵となり昨年同期より三三五八俵の激増ぶりであるが尙本年十一月迄の生産累計は百三十三万三千九百九十九俵で昨年同期の累計七十三万六千五百五十二俵を遙かに突破して居る

低利資金に産馬組合協議

石城郡産馬商産組合では十五日午前十時より團体事務を附して認可されたので近く着工する筈

平町からもキング賞授與者

伏見町長が推奨した岡田牛乳店の配達人

野間清治氏を社長とする雑誌「キング」の發行所大日本雄辯會講談社にては教育勅語發布四十週年を記念する爲全國より市町村長の推奨に基き孝子人格者功勞者等を表彰中であるが伏見平町長より豫ねて推選中の平町鎮田岡田牛乳店配達山形縣東村山郡大郷村字中野生れ杉崎新三郎君は其後講談社にて審査の結果榮あ

湯本水道は四月頃完成

四月頃完成

石城郡湯本町の下水道工事は内郷村湯本町傾城間の鐵管埋設終了を始めて高坂瀆過地傾城配水池等七分通りの工事を終へてあるが只好間村字内の草地内の隧道延長三百間が俗にコンクリートと稱する硬岩のため工事は遅々としてすまないので請負者堀江工業會社では近く最新式の鑿岩機を使用工事の進捗を計る事となつたが同工事は明年四月頃までに完成の豫定とあるから町としては遅くも六月初旬に通水の運びを見ることが観測してゐる

國庫負擔教育費

石城郡下支給額

石城郡下の教育費國庫負擔支給額は十萬五千二百卅圓卅二錢にて各町村別左記の如くである

- 泉二、一五八、二〇 渡邊
- 一、二四九、〇三 植田二
- 五、六九、一六 山田一、五
- 九、一、四七 錦一、八七七
- 二、五 勿來三、八七二、〇
- 四 上遠野二、三九八、七
- 三 入遠野二、一四三、七
- 九 川部一、九一五、九一
- 田人、荷路夫、貝泊、石住
- 二、五五二、七三 平一
- 〇、二〇四、四〇 飯野一
- 五〇五、五七 夏井一、三
- 六、一、六九 高久一、二三
- 八、九〇 豐間一、九四四
- 〇三 江名二、五九八、四
- 二 鹿島一、〇五〇、八八
- 小名濱四、四五五、二〇
- 玉川一、一九四、七六 磐
- 崎五、三二七、一四 湯本
- 七、五二四、九四 内郷一
- 二、五四一、九二 好間五
- 八八八、〇一 赤井三、八
- 九九、〇一 永戸一、五六
- 三、三五 箕輪七七〇、一
- 五 澤渡九五〇、七二三
- 阪一、六四五、五二 神谷
- 一、八二二、四五 草野二
- 四九四、九四 大浦二、三
- 三、九五 四倉三、四四
- 二、九八 大野二、〇九四
- 四 平窪一、六〇一、八
- 上小川 下小川一、九

南米への途中

佐藤武雄

皆様の御蔭様で廿八日無事乗船致しました。青年團、婦人會、在郷軍人小學生等雨の中にもかゝはらず澤山の御見送りを戴き午後には神戸港を出帆し佐藤は通過の際に少く風浪強く船酔も感じましたが卅日は晴天で九州沖の頃は油の上を走る如く實に心地宜しく櫻島や種島は同夕刻通過いたしました三十日午後七時より家長會が開かれまして各室の室長を選出する事になりました。我等のモンテ九はA、B、C、Dの四室に四百卅六人分乗いたして居ります小生はA室の代表に選出されました室長は早く言ひば小使で有りませが八十九人の代表なるが爲め事務長、醫務部、其他各部と連絡を取り四十六日間同室の圓滿無事に渡航する任務を命ぜられる譯で中々寸假も無き有様でありませ、十二月一日青年團の發團式が有りまして百四十六人の青年が集り團長以下記録係、衛生、風記、教育、運動、配水、と各室に一名づゝの係りを報けられ、室長と連絡を取り活動開始いたしました。十二月二日船内新聞が發行せられまして、又運動部では柔道、剣道の練習開始いたし小生は年長者の意味に於て剣道の教授をいたす事に相成まして又一役ふえて閉口です。運動部は誤樂部も併合して有りますので各室へ將棋盤一組棋盤一組を配付し又海外興業會社より寄贈のウチワ、日伯協會中村恆吉氏より寄贈の手拭及古本等を各室の十二才以上の者に配付する等衛生も共に夜を日に次ぎて多忙を極めて居ります、只今支那大陸を右に見て進行中で無数の漁船が我船の兩舷に迫り船客一同大さわぎをなしつつ、明三日午前六時頃には香港に碇泊致す豫定に成つて居ります。香港は目下の状態では上陸出来ませぬ、西貢も上陸禁止廿九日より十二月二日迄に豫防注射、チン素一回、コレラ一回毎日洗眼と醫務室も多忙で御座います。私等の一行も只今迄一同健全で航海を續けて居るのは皆々様の御蔭様と船中より厚く御禮申し上げます。船中の食事と言ひ特に入浴は気分がよくお湯は掛け流しにて毎日入浴出来る事に成つて居ります (三日香港にて)

植田も側溝改修

近く着工する

石城郡植田町では同町字上仁井田地内縣道の側溝が極めて不完全なため常に汚水停滞し附近民家から悪疫患者が續出する有様なので屢々縣に改修方を陳情してゐたが十日總工費千三百圓の中地元で半額を負担し工事は地元請負とする事と條件

夏井果樹講習

石城郡夏井村農會では十六日午後一時より同村小學校に於いて果樹の講演會を開き農事試験場稲田技手が講師として出張すると

落三郡木炭理事會 濱三

# 工費二萬圓を投じ 平劇場再建築

## 平驛前通りに 一偉觀を期待

濱通り唯一の大劇場であつた平町驛前の平劇場が昭和四年に焼失して以來經營者側では屢々再建を計つたが財界の不況から延びつゝなつてゐたところいよいよ建築することになつて目下材料を敷地に運搬してゐるが工費は三萬圓見當らしく明春四月ころには落成の筈でこれが完成後は平町に一偉觀を添へるものとして期待されてゐる

## 不良の 店子を一掃

### 家主が自營上 組合を組織して對抗

平町の貸家は約二千九百餘戸に達し家賃月額三萬圓を超えてゐるが本年六月以降殊に家賃の滞りが目に見えて増加し翌月五日までに主家の手に回収されるものは辛うじて五割に過ぎず翌月への繰延べその他は別として全然取立ての可能性なきもの一割五分乃至三割に達してゐる有様で家主は何れも焦慮の體であるが最近景氣に事寄せ家賃の踏倒しを常習とする不心得者も相當に多いのに業を煮やした各家主間ではこの際家主組合を組織して店子の個々につ

## 七人の女生徒が 金を持ち集つて

### 滿洲兵へ贈り物

平第二小學校尋常科四年の女生徒七人が相談の上お金を持ち集つて買つた誠意の結晶チエーインガムに左の書狀を添えて十二日本社へ寄託したつた

御願ひ致しますが此のチエーインガムはほんの少しですが寒い一滿洲の兵たいさんに送つて下さい、私たちが七人で少しづつお金をあつめて出し

たのです、ほんのしるしであづかるのがごめんとおのやうですがどうぞ御願ひ致します。  
平第二小學校尋常科四年の女生徒  
橋谷田壽子  
國府田シゲ  
森山 文子  
磯野 幾久  
高橋 トメ  
栗木ハルノ  
松本 貞子  
常磐毎日新聞社御中

## 忘れられ勝ちな 留守隊へ慰問金

### 石城石工組合から

在滿出征兵への慰問金品の贈呈は全國的に行はれて居るが目下若松廿九聯隊に多忙な日を送る留守隊員に同情し石城石工組合では協議した結果十二日附を以て廿四圓の慰問金を送付したが留守隊への慰問としては是

が最初であつたと  
小遣金を貯め  
平署に持参す  
平第二小學校四年生大町四六克己氏長女佐藤君子(六)さんと十五丁目保次郎氏長女小峯幸重(二)さんの兩名

## 入山炭礦火警

石城郡湯本町入山炭礦火防組では火防宣傳の爲めポスター四千枚を印刷し十三日より一戸宛二枚づつ撒布したと

## 古河炭礦落盤

石城郡好間村上好間古河炭坑機械夫荒川利夫(三)小原勘藏(三)は十一日午後七時十分坑内で作業中落盤の爲荒川は即死小原は重傷を負うた

## 免許偽造常習 運轉手檢舉

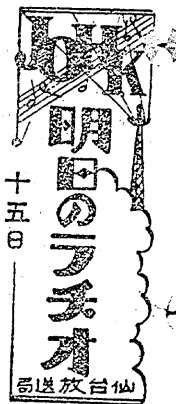
石城郡小名濱町字橋本自動車店小野徳次郎方運轉手笠間勝利(三)は昭和三年十二月乙種運轉手の資格を得同町横町小濱自動車店に勤めて居たが昨年三月頃下附されたフオード乙種免許をシボレーと偽造し前記小野自動車店へ移り本年四月廿八日には福島縣の免許を茨城縣と偽造し茨城縣多賀郡日立町にて勤めて居た事を平署に探知され十四日平署の手配で松原署より押送目下取調中

## 鐵瓶を投げつけ 火バシで突刺す

石城郡川前村大字五林佐藤徳治(三)は去る十一日午後四時頃同村佐藤文明方に於いて折柄居合せ飲酒中の永山庄吉(三)と炭材木を盗んだ盗まぬとの争ひから爐の自在にかけてあつた三升入の鐵瓶を庄吉に投げつけ更に火箸を振るひ同人の左手に突刺し逃れんとするを押し倒し亂打するのを居合せた連中が取押へ庄吉は新町根本醫師方に入院治療中で全治一ヶを要する重傷なのである

## 貯金詐欺 關係者取調

平町城山志賀利雄(三)石城郡飯野村上荒川佐藤隆文(三)の兩名は昨年來平町城山に旭興信所の着板を掲げて巧に郵便貯金の貯金通帳を買ひ集め印鑑を偽造して貯金の全拂ひをなしてゐたこと發覺十一日何れも平署



明日のラジオ  
十五日  
今晩は北西の風  
強く寒くなりま  
す明日は北西の  
晴れ海上荒れま  
す

明日の部  
前九、一〇料理献立「蒸し物白菊茶碗」小野寺嘉祝  
前一〇、三〇婦人講座「消費經濟と生産經濟」石橋山

入山炭礦が  
石城郡  
湯本町  
入山炭礦では粉炭の利用方法として今夏來より微塵粉炭を主とする練炭製法の研究の結果完全なものが出来上つたので入山練炭と名を付け目下鐵道省を始め各市場に對し一噸當り八圓内外で販賣を試み好評を博してゐる

往來  
元代議士佐藤庄太郎氏  
十三日午後六時平着列車にて福島より  
元縣議鈴木辰三郎氏  
同日四時平着列車にて上野より  
縣議萩原義雄氏  
本日午前八時平爲列車にて福島

圍碁會優勝者  
平町三丁目七十七銀行平支店にて十三日午後一時より行はれた圍碁會の優勝者は左の諸氏である  
(一等)山田與太郎(二等)岡田弘成(三等)山内忠(四等)菊地徳太郎(五等)萩原定八(六等)長島菊苗

磐城入山無配  
石城の磐城・入山の兩炭坑では下半期決算をめぐつたが入山は無配磐城も無配を免れぬ模様  
磐城炭坑納會  
石城郡内郷村磐城炭坑會社各係對抗陸上競技の納試合は十三日午後一時より同炭坑グラウンドに於いて行はれたと

美味しく安く安いの  
鳥小焼  
電話二八六番  
南町 鳥商 鳥菊

# 小説 七五郎

(百九)

渡邊默禪作  
布施平八郎書

【載轉禁】

我が子歸る (6)  
 『えッ、俺の知つて居る女とは一體全體誰れでござんすかえ。』  
 『イヤ、その婦人とは誰れでもない、お前のとこの歌ちゃんさ。』  
 『えッ、歌が横濱へ……、』

いかねえから、新橋の病院で疵の手當をして貰つて、それから此の家へやつて来て、金ちゃんのお父さんに自動車の貸銀を立替へて貰つてさ、金ちゃんに頼んで前の家の借電話で、俺が此處に来てゐることだけを一

而して若旦那の命を助けたとは……。何んのことかさつぱり俺にや譯がわからんて、……。』  
 『解らん筈だ、つまり歌ちゃんやんが、横濱へ来て呉れたのだ。』  
 『何に、歌が横濱へ……、』  
 『……へえ——。おや、電話であんなことを言つてゐたつげが夫れぢやあの時あのまゝ、ほんとに直と出かけて行つたのか。ふむ。』  
 『それから次第に話が進んで、源之助が横濱での出来事を語ると、清作は又十文家の内情を話すといつたやうに、双方から持寄つた報告が同じやうに互の胸の血を湧き立たせる強い刺戟になつた。』  
 『そんな譯でね、俺はその俵で櫻木町へ来てから自動車に乗かへてちやうど夜明方東京に歸つて来たんだが、直ぐと家へ行く譯に。』



寸千代さんに知らせたやうな譯だ。』  
 『然うですか。今朝お嬢さまがね何でもないから早く遇つて来てくれと仰しやるんですから、泡ア食つて今出かけて来たんですが、兎に角お宅へ歸んなすつてお父さんに訛言をいひお

御心配にや及びませんや、何に後で電話をかけて見ますよ。』  
 『どうか一時もはやく然うしてくれ、俺はそのことが心配で堪らんからね……。』  
 『萬事手帳はかく決つたものゝ、實際に打突つて見ると然うすら……はいかなか

呉んなせえ。余程お悪くなくつてらつしやる様子ですか……。お家の鬨を跨ぎさへすりや此方のもんだ御親戚方ともよく御相談の上川島一件や財産の整理そんなごだんを片ツ端から片づけてやればようがす。』  
 『むん。然うしよう。だが木村横濱に残して来た歌ちゃんは何なつたらうな、それが大いに心配で堪らな。』  
 『なに、彼奴のこつですか何と加して無事に歸つて来ませう、まあそんな事は

つた、午後新橋の花かつみへ問合せたけれど歌治はまだ戻つて来ないとの返事千代子から父に迫つた兄の訛言がすげなく突つ刎ねられたといふ事實、さうしたことが清作の心に少からぬ惱みを與へた。博士の診察やら見舞人の挨拶やらでござん、のうちにその日は早くも暮れた。  
 彼は千代子と相談して夜中にそつと源之助を誘ひ入れ、無理にも平兵衛に引合せて歸參の願ひを聞届けさせることにしたが、それも果して然う容易く行くかどうかを甚だ氣づかばれた。  
 ちやうど其夜の九時頃、十文字家の店先に一輛の俵が停つた。ふか／＼とかけた幌のなか／＼顔だけを出して何か車夫に吩咐けた男があつた。車夫は横町の通用門の方へ駆けて云つた。間もなく小暗い灯の蔭から車夫を先に立て、一人の男が出て来たそれが清作だつた。

御用命は印刷物の總て  
 常磐日印刷株式會社  
 電話六三〇番

開店  
 皆様！ 新たに計時店が出来ました。御客様の御満足をもツトとして御務め致します。何卒幾久しゅう御引立の程御願ひ申し上げます。  
 ◎開店御披露の爲め 十二月十五日まで實用優良品を市價二割引の特別奉仕値段を以て提供致します。  
 ◎修理は弊店の最も得意とする處です。若し御工合の悪い御時計でも御座いましたら精々御遺しを願ひます  
 確實な品を安く修理は  
 叮嚀……正確……迅速  
 白寶堂時計店  
 平新川町月見橋際

大塚の學生靴!!!  
 耐久新製品  
 編上靴 六〇〇  
 半靴 五〇〇  
 不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……  
 大塚支店製靴部  
 電話七七番  
 藤沼醫院  
 平町紺屋町  
 電話五〇七番

會葬御禮  
 昭和六年十二月四日  
 男 高岡文夫  
 親戚總代 酒井國三郎  
 セメント 磐城セメント株式會社  
 壁用材料  
 コールタール  
 ペンキ塗料  
 板ガラス  
 代理店 西村屋藥舗  
 平町二丁目電三一

七五三のお祝  
 可愛らしきお子様方に  
 洋服、オバー、マ、ト、帽子、シ、ヨ、ル、等々  
 平四 ツルヤ 電一〇